

ハンドブック  
ワンポイント  
レッスン

# 知っておきたい規則とルール

## Question

長年中学生を指導していたものです。先日応援に行った県中体連ソフトテニス大会女子個人戦で、下記の事象に疑義を感じましたので、その判断についてご教示ください。

1. 1級審判ワッペンを着用し、監督として自陣ペアを指揮・采配できるか。
2. プレーヤーは、アンパイヤーにボールの落下点の質問は可能であるが、1級審判ワッペン着用の監督が正審、副審のところに出向き質問、落下点を確認させることができるか。
3. アンパイヤーは、マッチ途中で交替できないことになっているが、1級審判ワッペン着用の監督が、アンパイヤーに不服を抱き、抗議的な行為で交替を申し入れることができるか。
4. アンパイヤーの判定について、その判定が競技規則の解釈と適用に誤りがあると認められる場合は、プレーヤーは、レフェリーに提訴できるが、1級審判ワッペン着用の監督が、大会本部にコート内から携帯電話で繰り返し、アンパイヤー批判の言を発し、アンパイヤー交替を求める提訴ができるか。
5. 1級審判ワッペン着用の監督が、相手方ベンチに出向き、相手方監督に対して本部に通報している旨を告げ、レフェリーに提訴をもちかけることができるか。

**備考** 本大会のアンパイヤーは、大会本部の要請に応じて、高等学校ソフトテニス部員が従事していた。本件マッチのアンパイヤーも同部員2名が担当した。アンパイヤーとして不慣れな観もあつたがお疲れ様でした。それよりもむしろ、監督か、1級審判か、レフェリーか、どんな立場でもの言っているのか、わかまえない指導者に不信感を覚えます。なお、この大会は、中学3年最後の大会で、勝敗は勿論、勝つても、敗れても、プレーヤーには、有終の美を飾らしたかったが、応援者として残念至極でした。

## Answer

いわゆる県中体連規則（ローカルルール）適用で、コーチ・監督は、個人戦のベンチ入りが認められた大会においても、助言する事は出来るが、質問・提訴は出来ない筈である。

平素中学校の生徒さんをご指導頂いておられる指導者・コーチの方々に敬意と感謝を申し上げます。そして、大会運営ご苦勞様です。この度ご協力頂いた高等学校のソフトテニス部員の方、アンパイヤーの大役を快く受けて下さり大会運営にご協力くださった事に感謝します。

さて、ご質問の1～5と備考から1級審判員ワッペンを付けておられる方（ここでは監督さんです?）の行動そのものが手順を追って理解出来、その都度2～4のご質問の前半は競技規則に沿っており問題はないが後半の部分

について質問者からみてルール違反は明白で、その事に疑義を感じておられご質問に至ったと受け止めています。ご指摘頂いた1級審判員ワッペンを着用して監督をしている者が、本大会のレフェリーなのかアンパイヤーなのかについては分かりませんが、いずれにしても兼職していると思われる監督の職務を逸脱しているとしたら受け取れません。この一連の流れは誰が見ても驚かれ誰かに話したくなると思いますし、質問を受けた方は、その1級審判員ワッペンを付けた者は何者?と言われるでしょうね。

中体連の個人戦の監督は、  
質問・提訴はできないはず  
なのに・・・



大会運営で特にレフェリーに当たられる方は、出来るだけベンチに入らなくてもよい人が望ましいのです。理想論を言っても仕方ないのですが、レフェリー職を受けて自分が指導している子供さんがいればベンチに入られる事があると思います(この時は、公認審判員徽章は取りはずす)。この時、問題が起きない事を願っておられると思いますが、もし問題が起きたならどのように処理されておられるのでしょうか。長い間、審判関係に携わっている者と

して、議論した事があります。団体戦でベンチに入っている場合、自分のチームの子供が問題を起こした時、監督として質問から提訴をする立場になって初めて気付く事になりますが、監督として提訴したけれど監督の自分がレフェリーとしてその提訴を受けて最終判断をし、判定を下すこととなりますね。矛盾していませんか。競技規則第40条(異議の申立て等の禁止)[解説17]を参照。こんなことからレフェリー職を受けられる時は、ベンチに入らない方がいいということになります。また、レフェリー職を受けておられる者はアンパイヤーをしない事に越した事はないのです(プレーヤーとして敗者審判制)。なぜならば、職務が異なるため、原則として兼職すべきではないと[解説21]に記載してあります。ところでアンパイヤーも人間ですから、勝敗を分ける大事な場面で時にアウト、インの判定でミスをする事があります。そのミスを咎めて自分に不利の判定に対して、又その様な事が繰り返されるのではとアンパイヤーに不信感を持って、アンパイヤーの交替を要求される様な事が時に有るようですが、審判規則第22条(交替の禁止)でマッチの途中で交替できない事になっています。

以上の事から1~4の質問に答える事を省略しますがご理解を頂けるものと思います。なお、5については常識

では考えられない行動です。中学3年最後の大会で生徒さんも何かを感じていると思うし、アンパイヤーを務めてくれた高校生が1級審判員ワッペンを付けた者に対して嫌気をさし、今後アンパイヤーを依頼された時拒否されないか心配で、残念な事例です。ローカルルール適用で、コーチ・監督は、個人戦のベンチ入りが認められた大会であっても、助言する事は出来るが、質問・提訴は出来ないことの自覚と県中体連として今後個人戦の監督の役割について徹底を図っていただくことをお願いし、大会運営に万全で臨みたいものです。

【関連規則】

競技規則

第38条(禁止事項)2、

第40条(異議の申立て等の禁止)

公認審判員規程施行細則 第4条

(公認審判員徽章の携行)

大会運営規則第8条(競技規則等の特例)(1)

審判規則第22条(交替の禁止)

ジュニア審判マニュアル

競技規則について

14. 禁止事項

15. アンパイヤーの判定に異議がある場合は  
どうしたらよいか?(質問)

審判規則について

9. アンパイヤーはマッチの途中で交替できるか?

(交替の禁止)